

大阪狭山市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期特定健康診査等実施計画(素案)についてのパブリックコメント実施状況

募集期間:令和6年1月9日(火)~1月31日(水)

寄せられた意見の数:5件(1名)

意見の提出方法内訳:FAX

大阪狭山市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期特定健康診査等実施計画(素案)に対する意見への回答書

番号	意見の内容(要旨)	市の考え方	件数
1	各種がん検診を無料にしてほしい。成人歯科健診の年齢制約(40歳~60歳・70歳)をなくしてほしい。	各種がん検診は、受益者負担の観点から一部ご負担いただいております。成人歯科健診は、法に基づく対象が40歳、50歳、60歳、70歳ですが、すでに市独自で対象年齢を拡充し実施しています。	1件
2	基金などをつぎ込み、人間ドックの助成額を増やしてほしい。	本市では平成30年度に人間ドック費用の助成額を上限20,000円から30,000円に増額しており、助成額では大阪府後期高齢者医療における上限26,000円と比べても、より手厚く行っています。さらに、財政調整基金等を活用し、令和5年度人間ドック受診者には5,000円分のさやりんポイントカード(令和4年度人間ドック受診者には1,000円分のQUOカード)を進呈し、実質35,000円分(令和4年度は実質31,000円)の助成を行っています。	1件
3	特定健診の国基準の検査項目に加えて、市独自の施策として、眼科・歯科・聴覚検査を追加してほしい。	現在、市内の医療機関で特定健診を受診した場合は、以下の市独自の追加項目を実施しています。また、歯科については、成人歯科健診を実施しています。 ①血液検査 血中脂質検査:総コレステロール 肝機能検査:ALP 腎機能検査:アミラーゼ 腎機能検査:尿素窒素、アルブミン ②尿検査 尿潜血 ③心電図検査 ④眼底検査	1件
4	医師会などに協力をお願いして、日祭日の検診日を設定してほしい。	乳がん検診や大腸がん検診については、日曜日に開催する健康まつりで実施しており、引き続きイベント等での実施を検討していきます。	1件
5	子育て支援の立場から、子どもインフルエンザ予防接種費用の助成をしてほしい。	子どものインフルエンザ予防接種は、個人の予防対策として感染予防や重症化を防ぐために希望者が各自で受ける任意接種として位置づけられており、任意接種の費用助成をするためには、ワクチンの供給量や高齢者の定期接種に支障が出ないようにするなど、多くの課題があるため、難しい状況と考えています。	1件